



Support SE 愛LOVE友 Education

No.14

美瑛町立美瑛中学校 すだちの教室
2020年5月28日 発行
文責 特別支援教育コーディネーター三上山



本校では、状況に応じて、医療と連携しています。具体的に旭川肢体不自由療育センター、旭川医大小児科(思春期外来)、圭泉会旭川病院、旭川市立病院(思春期外来)、旭川六条医院(心療内科)などです。支援担当者や通級担当者が医療通院時に保護者の同意を得て同行し、学校の様子をDrに伝え(文書及び口頭)で診察時に、支援体制のアドバイスをいただいています。それらを個別の指導計画や支援計画(すとリーむ)に反映させ、支援体制の充実に努めてきています。教育現場スタッフと医療との連携が今後重要になると思います。同行した保護者の方も、安心して通院できると良好でした。今後、在籍の有無に関係なく、医療との連携とアプローチが大切です。

こころを整えるDrとの関りは、今後 大切な役割を果たすと思われます。Drとのつながりでカウンセラーとの連携も可能になります。

以前に務めていた学校で、絵と書のコラボをしてみたいとある先生に申し出たら、一つ返事でハイいいよと言って私の書いた絵に サッサーと書いてくれました。

ふうわり そよふく 風の中という 書です。

バランスがとても好きで、今も大切にしています。

その時、その人と出逢って 実現したこと/実践できたことは、教師になってとても良かったと思えることです。部活動でも、同じでした。今となっては、失礼で生意気な指導者でした。ごめんなさい。でも、今でもその時、チームとして求めてきた心は、私の今を生きるエネルギーの源泉のような気がします。時代は違っていても、純粋な生徒達と一緒に過ごせた心地よい風は、今も忘れられません。勝ち負けにとらわれていた時期と勝ち負けにとらわれないでただひたすらに、前向きだった時期、どちらも素晴らしかったです。大会に向かって努力していた時期が長く続けば良かったと思う日々がありました。

どんな成績でも、そこに向かって自分や生徒達の時間が長く続くことをいつも感じていたように思います。

このコラボ色紙は、そんな気持ちを思い出させてくれる私の宝物なのかもしれません。

ご愛読していただいているあなたにとっての、大切な宝物はなんでしょうか？



来週の6/1(月)から平常授業になります。**生活リズムを整え、心が安定した状態で授業に取り組めるようお互い配慮していきましょう。気になることがありましたら、担任へ連絡ください。通級予定日は、個別のLINEで通知させていただきます。**

「ありがとう」なんて素直に言えない 「大好き」なんてもちろん言えない はやく終わらないかな 反抗期
辻坂 優宇(大阪府岸和田市 中学校3年生)